

# 一般質問通告表

平成26年第2回始良市議会定例会（7月3日（木） 午前9時開会）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 森川 和美	1. これからの中央図書館のあり方について	<p>(1) 図書館の入館者増、長時間利用及び市民要望にどのような工夫と努力をしているか。</p> <p>(2) 図書館の3要素である、施設、人、蔵書（資料）をどのように評価しているか。</p> <p>(3) 開館時刻を早めることはできないか。</p> <p>(4) 福祉、介護関係図書の新なる充実をすべきではないか。</p> <p>(5) 休館日を見直す考えはないか。</p>	教育委員長
	2. 県のスーパーアリーナ建設を本市に誘致する活動について	<p>2020年開催の鹿児島国体のメイン会場として、県知事が昨年5月に打ちだしたスーパーアリーナ建設計画の予定地が、諸々の理由から8月計画の見直しを表明以後、始良市、霧島市をはじめ県下6市1地域が次々と誘致を表明。決起集会や署名活動が活発になっている。</p> <p>(1) 本市への誘致の勝算はどの程度か。</p> <p>(2) 本市に誘致を希望する理由として、何をあげているか。</p> <p>(3) 条件整備として何を進めていく考えか。</p>	市長
	3. 行財政改革について	<p>全国の自治体で、高度経済成長期に建てられた公共施設やインフラが一斉に建て替えや修繕の時期を迎えている。しかし、税収も大きく伸びることは期待できず、更新予算のねん出には限界がある。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>4. 地域包括ケアシステムの充実について</p>	<p>(1) 公共施設の統廃合をはじめとする、公共施設白書作成作業専門担当の副市長を置く2人体制は考えないか。</p> <p>(2) 本市の公共施設数を問う。</p> <p>(3) 延べ床面積はいくらか。</p> <p>(4) 人口1人当たりの面積はいくらか。</p> <p>地域包括ケアは、さまざまな事業者や団体が連携し、それぞれの地域で高齢者を支える試みだが、地域格差や、経営が良好な分野と、その一方の経営的に難しい分野には参入しにくい課題がある。</p> <p>(1) 訪問医療の医師、施設に入れない、施設から出て生活したい時のサービスが用意されていないという時に、誰が調整役を担うのか。</p> <p>(2) 本市でさまざまな支援を必要とする高齢者がどのような暮らしを送っているか、実態調査はしているか。</p> <p>(3) 医療と介護の連携が事業所の都合の良いルートのみで進められている懸念はないか。</p> <p>(4) 医療と介護について、今後、地域地域で皆で集まって議論することが大事ではないか。</p>	市 長
	<p>5. 西始良地区に地区公民館建設について</p>	<p>本市には、各校区に地区公民館及び交流センター等が設置されている。始良ニュータウンは、昭和55年に宅地造成がされ、人口も約4,000人というマンモス団地を形成しているが、いまだに地区公民館の設置に至っていない現実をどう考えているか。過去に何回となく現職議員、OB議員が質問、要望</p>	市 長



氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>そこで以下の考え方取り組みについて問う。</p> <p>(1) 今回の肉付け予算（補正予算）の基本的な考え方について問う。</p> <p>(2) マニフェスト（市民のみなさまへのお約束）として、すぐにとりかかる重要政策（県内初となる食物アレルギー食を提供する保育所への助成、生活支援として商工会商品券に1割のプレミアムを助成、空き家に居住するためのリフォームに補助）の3点を掲げたが、思い通りの予算編成ができたか問う。</p> <p>(3) 2期目にあたり最も重要視する施策と今後新たに取り組む施策は何か。</p> <p>(4) 市民の皆さまの生命、財産、暮らしを守り、安全、安心、快適な「日本一、暮らしやすいまちになるために」8つのまちづくりの基本理念を掲げた。どれも重要かつ誰もが目指す将来像であると思われるが、特に快適で暮らしやすいまちづくり（安全安心なまちづくり）について、本市でも昨年重富小学校近くでおきた凶悪犯罪や蒲生の強盗事件、不審者による声掛け事案、最近でも覚せい剤所持、児童ポルノ法違反事件など、その不安はいつこうに拭いきれていない。これら防犯対策の一つとして、地域の防犯灯（街路灯）の設置があると思われるが、その現状、実態と設置基準について、考え方・今後の対応を問う。</p>	
3. 田口 幸一	1. 都市計画街路について	<p>(1) 国道10号、いわさきガソリンスタンドより重富駅に通じる道路建設計画は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 幅員、延長はどうか。予算につ</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 投票率について	<p>いて説明を求む。  (3) 目途はどうなっているか。</p> <p>(1) 過日実施された始良市長、市議会議員選挙の投票率は、4年前に比べ、7.26%低下した。これは何が原因か。どのように分析するか。  (2) 投票率をあげるためにどのような施策を考えているか。</p>	選挙管理委員会委員長
	3. 食糧需給率について	<p>(1) 始良市の食糧需給率はいくらか。  (2) 国、県はどのようにになっているか。  (3) ひとたび有事となれば、自前の食糧が必要になる。どのような施策を考えるか。</p>	市 長
	4. 雇用を守るには	<p>(1) 企業誘致の政策はどのようにになっているか。  (2) 始良市の若年、中年、高齢者の労働力をどのように分析しているか。  (3) ホテル、旅館等の誘致は、今後どのようにになるのか。具体策を示せ。</p>	市 長
	5. 原子力発電について	<p>(1) 川内原子力発電所の再稼働の計画をどのように考えるか。  (2) 太陽光発電、風力発電、水力発電などの自然エネルギーに切り換えるべきだと考えるが、市長の考えはどうか。</p>	市 長
	6. 過疎脱却について	<p>(1) 漆地区、西浦地区、新留地区、大山地区、西別府地区、辺川地区、北山地区、木津志地区等の振興策を</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>どのように考えるか。</p> <p>(2) 小規模校の活性化策をどのように考えるか。</p>	
4. 湯川 逸郎	<p>1. 市長の施政方針・市民の皆様へのお約束・また、平成 26 年度予算案について</p> <p>2. 環境にやさしいまちづくりについて</p> <p>3. 緊急避難道路と都市計画マスタープランの道路計画について</p>	<p>(1) 合併後の市政 4 年間を振り返り、2 期目の市長としての施政方針また市民の皆様へのお約束で、予算編成に当たり、特に重視し指針となったものは何か。</p> <p>(2) 日本一暮らしやすいまちになるために、まちづくりの基本理念で、市長自ら最も推進される事業・施策は何か。</p> <p>(3) 市民の皆様へのお約束で「これからが本番！」において、ブレない・ズレない・カタヨらない公正・公平な市政に向けた予算編成がなされたか。</p> <p>(4) これからが「まちづくり本番！」と称せられた内容について具体的に問う。</p> <p>これまで「ゴミ収集・ゴミの減量化の推進において、市民の意見を反映し、高齢者等の負担を軽減します。」と市長一期目の公約をしているが、二期目の公約として、「ゴミ収集・ゴミの減量化の推進は、校区コミュニティと連携し、ゴミ出しの体制を充実していきます。」としている。いつからどのような内容で具体的に実行するのか。</p> <p>「快適で、暮らしやすいまちづくりにおいて、危機管理体制の確立、災害に強い安全・安心なまちづくりを行います。」と公約している。</p> <p>また、市長の市政報告会の中で「松</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. あいら斎場の建替えと周辺の道路整備の見通しについて	<p>原地域で緊急避難道路して、どこを通り避難すれば良いか。」との声があった。この事については緊急を要する事であると思う。</p> <p>そのためにも、平成25年3月に始良市都市計画マスタープランが策定され、建昌周辺の都市計画道路錦原線と都市計画道路宮島線と結ぶ路線の道路完成を早期に計画すべきと思うが、市長の考えはどうか。</p> <p>また、桜島サービスエリアのスマートインターチェンジ北側のアクセス道路工事との連携をあわせて問う。</p> <p>「快適で、暮らしやすいまちづくりにおいて、老朽化した火葬場の施設整備をし、心おだやかに見送られる環境を整備します。また、火葬場周辺の道路も整備し、利用しやすい環境整備を行います」と基本理念で掲載し、また、都市計画マスタープランで「地区生活幹線道路」において、主要地方道川内加治木線からあいら斎場にアクセスする市道の整備を推進します。」とも掲載している。</p> <p>あいら斎場の建替えの見通しとアクセス道路の整備について、具体的に問う。</p>	市 長
5. 森 弘道	1. あいら斎場の建設計画について	<p>今回の市議会選挙を通じて多くの市民の方から斎場建設についてご意見をいただいた。これまで議会や市民に対して建設計画について説明をされてきたが、改めて市民の関心の高さを感じた。計画の実行性、具体性について問う。</p> <p>(1) 現在の斎場の道路向かいの建設予定地については合併前の一部事務組合で適地として求めた経緯と合併</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 始良市の観光行政について</p>	<p>後の候補地選定委員会の中での経緯について再度問う。</p> <p>(2) 道路事情等を踏まえ、周辺的环境整備が必要との地域の住民の声もあるが今後どのように対処するか。</p> <p>(3) 建物の老朽化も進み、炉数や待合室が手狭なことから早い段階での建設を多くの市民が待ち望んでいる。建設計画について早める考えはないか。また、財源の見通しはどうか。</p> <p>始良市の観光おもてなし計画（基本計画）が策定された。これまで策定に携わられた委員の方々や関係者に対し、深く感謝と敬意を表します。県内で最も多くの文化財を抱えており、まだ十分に生かされていない部分もあるが、合併4年という短い中において、あいらびゅー号や交流センターなど一定の成果は上げていると評価したい。「日本一暮らしやすいまちづくり」を進める中で、先人が残した多くのすばらしい歴史、文化遺産（県内一）を市民の一人一人が郷土の誇りとして再認識してもらうことがこれからの活動の原点であり、そのことが全てに通ずるものと考えます。本市の自主財源である市税等は全体の30%程度であり、経済の低迷や交付税が減額傾向にある中においては観光需要による経済の活性化を図り、市や地域の発展につなげる政策が最も有効な手段と考えます。このおもてなし計画による始良市の発展、経済効果を大きく期待するものである。（観光が経済をけん引する。）</p> <p>(1) この計画の中にもあるが地元、地域の方々が無知して来訪者の受</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>け入れ、おもてなしの心は醸成されない。市民の意識改革、協力態勢、理解を具体的にどのように進められるか。</p> <p>(2) 学校のカリキュラムの中に観光の視点を取り入れるとあるが具体的にどのようなになるのか。学校における郷土教育や、史跡を利用した体力づくりなど体感する機会が増えるのか。</p> <p>(3) 各自治会の会合や、地域の行事の中でボランティアガイドによる学習会をお願いすればできるようになるか。</p> <p>(4) ボランティアガイドは現在各地区で何人ずつおられるか。また、この基本計画を実施する中で何人を想定されているか。後継者の育成も考えているか。</p> <p>(5) 今回の補正予算で市民の健康づくりポイント制度の導入が始まるがこれも期待をしている。市民の健康づくりにもウォーキングなど観光ルートの活用を図れば相乗効果でそれぞれの目的達成に役立つと考えるがそのような計画はできないか。</p> <p>(6) 加治木の伝統くも合戦は毎年盛大に開催されて名物行事となっている。開催に至るまでには相当のご苦労があると思うが、本市と盟約を結んでいる日置市にも呼びかけて交流が図られればお互いの観光宣伝にもなり、今以上の効果があると思う。くも合戦の保存団体に呼びかけてはどうか。今までそのような働きかけがあったか。</p> <p>(7) 宇都自治会の奥に義弘公の愛馬膝跪躰（ひざつきくりげ）の墓がある。墓への入口の道路（約50m）</p>	

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		を観光の方で整備できないか。九州平定に義弘公と共に戦場を駆け回った勝馬である。	